JASDAQ

第16期第2四半期
株主通信

［ 2013年4月 1日から
2013年9月30日まで ］

フューチャーベンチャーキャピタル株式会社

FVC
Future Venture Capital Co.,Ltd.

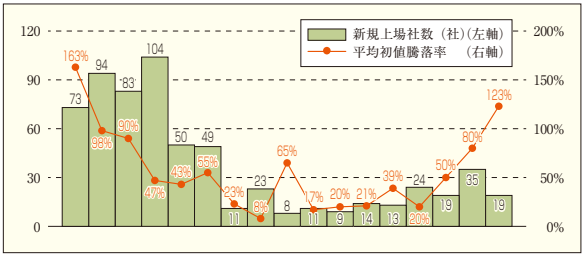
ご挨拶

株主の皆さまには、平素より当社事業にご理解とご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。ここに2014年3月期第2四半期の当社を取り巻く環境及び活動の状況をご報告申し上げます。

日本国内における当期間の新規上場社数は19社となり、前年同期の19社と同数だったものの、上場した全社の初値が公募価格を上回る等、新規上場を目指す企業群にとっては期待感の強まる環境が形成されつつあります（下図）。

当社におきましては、6月に（株）ジェイエスエス、9月に（株）アドメテックが上場し、2011年3月期から4期連続で上場企業を輩出しています。

新規上場市場の状況（半期ごとの数値を記載）



初値騰落率｛(初値－公募価格)÷公募価格｝×100

新規上場企業のご紹介

（株）ジェイエスエス（本社：大阪市）は、スイミングスクールを全国で展開する企業であり、6月にJASDAQ市場に上場しました。2013年世界水泳で日本選手唯一の金メダルを獲得した瀬戸大也選手が所属しています。

（株）アドメテック（本社：松山市）は、癌の治療装置を開発する愛媛大学発のベンチャー企業であり、9月にTOKYO PRO Marketに上場しました。えひめベンチャーファンド2004から累計5社目の上場企業となりました。

明るい兆しが見えはじめた経営環境の中、当社はベンチャーキャピタル事業の強化と新たな収益源の獲得に注力しております。

ベンチャーキャピタル事業の強化としては、株主である(株) カネカとの連携により得た知見を元に、事業会社のニーズとベンチャー企業のシーズを効果的に結び付け、オープンイノベーションを促進するツールとして、企業間連携支援システムを開発し、試験運用を開始しました。全国に情報網を張り巡らせながら、特定の系列に属さないという当社のポジショニングを生かし、ユーザ層を拡大し、情報の交差点としての地位を確立してまいります。また、ファンドについては、2012年8月に設立したもりおか起業ファンドの規模を50百万円から100百万円に増額した他、2014年に運用期間を終了するえひめベンチャーファンド2004の後継ファンドとして、えひめベンチャーファンド2013を500百万円で設立しました。当社としては、これらのファンドを通じ、地域におけるエコシステムの一翼を継続して担ってまいります。

新たな収益源の獲得としては、京都、大阪に展開するシェアオフィスの更なる地域展開を推進している他、もりおか起業ファンドのように従来型のベンチャーファンドとは異なる軸を有したファンド設立を複数企画しており、早期の実現を目指します。自治体向けコンサルティング事業についても、受託額は前期を上回る見通しです。

こうした新たな収益源の獲得に向けた取り組みを行う一方、経費削減についても継続しており、当期の固定的費用は154百万円と、前年同期比3.0%減少しています。

こうした施策を通じ、事業収益の改善に向け、努力を重ねてまいります。引き続きご理解とご支援を賜りますよう、お願い申し上げます。

2013年12月

代表取締役社長 今庄 啓二

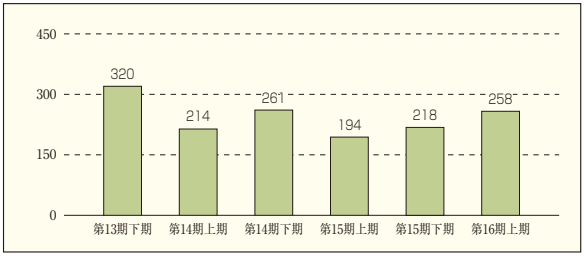
本資料における記載数値について

当社では連結での決算を行っておりますが、当社の経営成績及び財務状態をより的確に表すため、本資料では、基本的に投資事業組合の当社持分のみを連結した個別財務数値を記載しております。

業績ハイライト

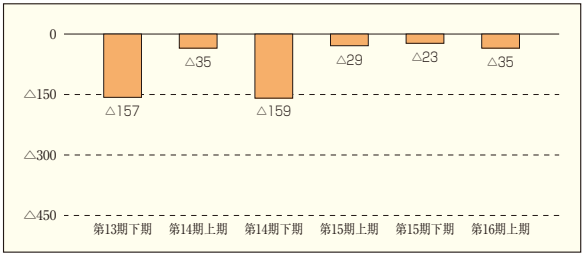
①売上高

単位：百万円



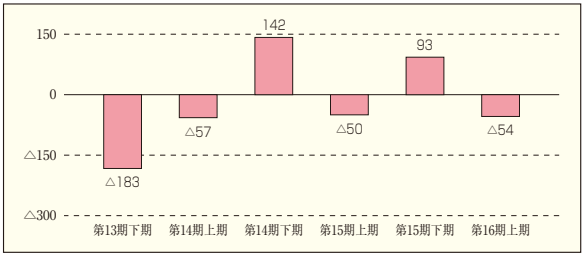
②営業損益

単位：百万円



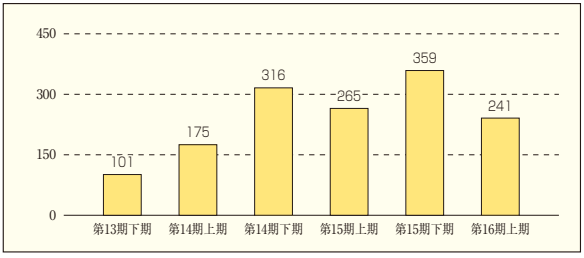
③当期純損益

単位：百万円



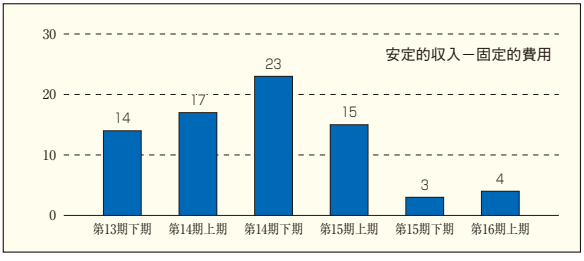
④純資産

単位：百万円



⑤安定的収入と固定的費用

単位：百万円



当期の業績を見てまいりますと、投資事業組合から受領する管理報酬は減少したものの、（株）ジェイエスエス上場に伴う株式売出の影響等により、売上高は258百万円、前年同期及び前期比ともに増収となりました（3頁①）。一方、営業投資有価証券の売却損益が芳しくなかったことから、営業損失は35百万円（3頁②）、当期純損失は54百万円（3頁③）となり、前年同期及び前期比ともに悪化しました。

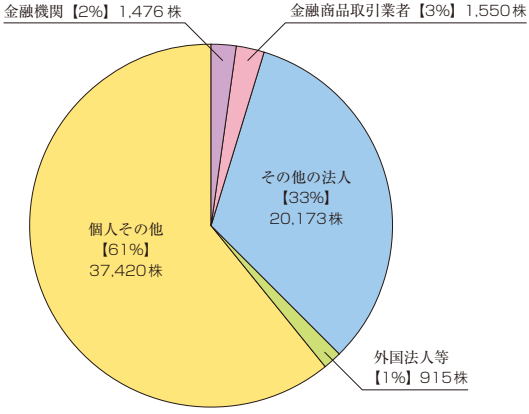
当期末時点の純資産は、当期純損失を計上したことに加え、上場後継続保有している営業投資有価証券の株価値下がりによりその他有価証券評価差額金をマイナス計上したことで、前期末比118百万円減少しています（4頁④）。

なお、当期におきましても営業損失を計上しておりますが、前期に続き、販売費及び一般管理費等の固定的な支出をファンドからの管理報酬を中心とした安定的な収入によって賄う状態を維持しております（4頁⑤）。

株式データ

・発行可能株式総数 …… 180,000株
・発行済株式の総数 …… 61,534株
・株主数 …… 1,590人

■所有者別株式分布表



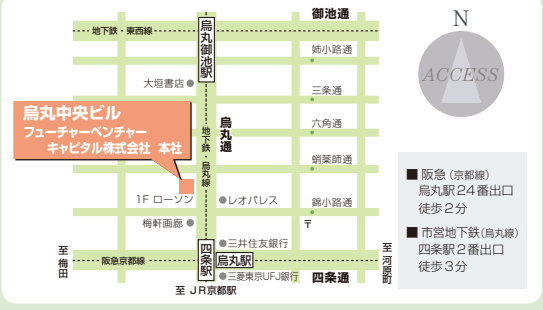
■大株主の状況

株主名	当社への出資状況	
	持株数	出資比率
1 株式会社カネカ	11,024株	17.9%
2 川分 陽二	2,869株	4.7%
3 古川 令治	2,570株	4.2%
4 古我 知史	2,244株	3.6%
5 江平 文茂	2,116株	3.4%
6 関西サービス株式会社	1,800株	2.9%
7 乾 敏行	1,560株	2.5%
8 坂本 友群	1,476株	2.4%
9 藤原 洋	1,300株	2.1%
10 金田 泰明	1,231株	2.0%

(注)1. 出資比率は自己株式を控除して小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。
2. 当社は、2013年9月30日現在、自己株式を12株保有しております。
3. 2013年10月1日付で普通株式1株につき100株の割合で株式分割を行っておりますが、本資料には株式分割前の2013年9月30日時点の情報を記載しております。

会社の概要（2013年9月30日現在）

■商　　号　フューチャーベンチャーキャピタル株式会社
■設　　立　1998年9月11日
■資 本 金　20億5,199万円
■従業員数　22名
■本　　社　〒604-8152
京都府京都市中京区烏丸通錦小路上ル
手洗水町659番地　烏丸中央ビル
■管 理 部　TEL：075-257-2511　FAX：075-211-1601
■営業部門　TEL：075-257-6656　FAX：075-211-6965



■東京事務所　〒105-0001
東京都港区虎ノ門二丁目7番5号
ビュレックス虎ノ門2階
TEL：03-6205-4388　FAX：03-3597-4880

■地域拠点　青森事務所　岩手事務所　山形事務所
三重事務所　堺事務所　愛媛事務所

役　員

代表取締役社長	今庄啓二	取締役	鈴木智久
取締役	小川　淳	取締役	松本直人
常勤監査役	木村　純	監査役	岡部陽二
監査役	小川忠久		

株主メモ

事業年度	4月1日～翌年3月31日
期末配当金受領株主確定日	3月31日
中間配当金受領株主確定日	9月30日
定時株主総会	毎年6月
株主名簿管理人	三井住友信託銀行株式会社
同連絡先	三井住友信託銀行株式会社 証券代行部　〒541-0041 大阪市中央区北浜四丁目5番33号 TEL：0120-782-031 （フリーダイヤル）
上場証券取引所	JASDAQ市場
証券コード	8462
公告の方法	電子公告により行う 公告掲載URL http://www.fvc.co.jp/

（ご注意）

1. 株券電子化に伴い、株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人（三井住友信託銀行）ではお取り扱いできませんのでご注意ください。

2. 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、下記特別口座の口座管理機関にお問合せください。
   〒541-8502　大阪市中央区伏見町三丁目6番3号
   三菱UFJ信託銀行株式会社　大阪証券代行部
   TEL　0120-094-077（フリーダイヤル）

3. 未受領の配当金につきましては、三井住友信託銀行全国本支店（コンサルティングオフィス・コンサルプラザ・i-Stationを除く）にてお支払いいたします。

フューチャーベンチャーキャピタル株式会社

〒604-8152 京都府京都市中京区烏丸通錦小路上ル
手洗水町659番地　烏丸中央ビル
TEL：075-257-2511　FAX：075-211-1601
http:// www.fvc.co.jp/